

ACCESS

松山空港から／

松山空港リムジンバス道後温泉駅前行きで約40分
 ▶タクシーで約30分 小型2,660円、中型2,990円

JR松山駅から／

伊予鉄道電停JR松山駅前より伊予鉄道市内電車道後温泉行きで約25分
 ▶タクシーで約15分 小型1,380円、中型1,550円

松山市駅から／

伊予鉄道電停松山市駅より伊予鉄道市内電車道後温泉行きで約20分
 ▶タクシーで約15分 小型1,140円、中型1,230円

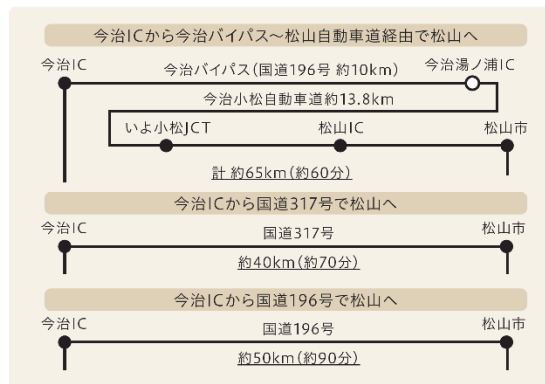
松山観光港から／

松山観光港リムジンバス道後温泉駅前行きで約43分
 ▶タクシーで約25分 小型2,900円、中型3,310円

三津浜港から／

三津港から伊予鉄バス三津吉田線で約35分
 松山市駅から伊予鉄道市内電車道後温泉行きに乗り換え、約20分
 ▶タクシーで約25分 小型2,500円、中型2,830円

※四国運輸局が公示した工程幅運賃の上限運賃を基に距離制運賃で計算しています。
 実際の料金は、時間距離併用運賃のため交通事情により多少異なることがあります。



道後温泉事務所

〒790-0842 愛媛県松山市道後湯之町4-30 TEL(089)921-5141
 ホームページ <https://dogo.jp>

旅のことなら

■松山市観光・国際交流課

〒790-8571 愛媛県松山市二番町4-7-2
 TEL(089)948-6556

■(公財)松山観光コンベンション協会

〒790-0004 愛媛県松山市大街道三丁目2-46
 松山城ロープウェイ東雲口駅舎2F TEL(089)935-7511

■道後観光案内所

〒790-0842 愛媛県松山市道後湯之町6-8
 TEL(089)921-3708

道後温泉本館

国指定重要文化財

残したい日本の音風景100選
 美しい日本の歴史的風土100選

いで湯と城と文学のまち 四国・松山



道後を 巡ろう

日本最古の湯といわれる道後温泉。
古くは聖徳太子が来浴し、
斉明天皇も行幸された歴史があります。
また夏目漱石をはじめとする
文人墨客が来遊した湯のまちには、
長い歴史を感じさせてくれる
多くの見どころが点在しています。



道後公園（湯築城跡）



戦国時代、この地を治めていた
河野氏の居住跡に整備した憩
いの公園。復元された武家屋
敷や資料館もあり。

子規記念博物館



松山市出身の文学者・正岡子
規の偉業をはじめ、明治時代
の松山や文学について紹介し
たミュージアム。

湯のまちで、パワースポットを巡る

道後のまちには、結びつける、復活させる、守る、そんなパワースポットが点在。



1 圓滿寺

江戸時代、道後の湯が止まった際に、
ここに祈願することで湯が復活した
という逸話が残っている。現在は開運
アイテムのお結び玉が人気。



2 伊佐爾波神社

1967年に国の重要文化財に指定さ
れた「日本三大八幡造り」に数えら
れている寺院。縁結びのご利益によ
り、人々から信仰を集めている。

レトロモダンな道後の顔を探る

道後のまちは、初めてなのになつかしい。



1 空の散歩道（足湯）

道後温泉本館の南、冠山へと続くゆ
やかな展望散策道。山頂の足湯は
湯のまちを眺める特等席で、夜には
ロマンチックな夜景も一望のもとに。



2 第4分湯場

源泉から送られてきた温度の異なる
湯をブレンドする様子が見られる。
源泉に直接触れることができる手湯
もあり、泉質を確認することが可能。



3 湯神社・中嶋神社

道後温泉に縁の深い大国主命と少彦
名命が祀られた湯神社は、海運や縁
結び祈願で人気をよんでいる。境内に
はお菓子の神様である中嶋神社も。



4 湯釜薬師

明治27年頃まで道後温泉本館で実際
に使われていた湯釜。宝珠にしたた
められた「南無阿弥陀仏」の文字は、
一遍上人の筆と伝えられている。



3 坊っちゃんカラクリ時計

道後温泉駅前の放生園にあり、定時
になれば小説「坊っちゃん」の登場
人物の人形が登場。ユーモラスな動
きと音楽を楽しむことができる。



4 道後温泉駅舎

あたかも明治時代に旅したかのような
佇まいを醸し出す駅舎。夜にはライト
アップされた坊っちゃん列車が駐機
し、雰囲気盛り上げている。

外湯めぐり

㊦ 椿の湯 つばきのゆ



道後商店街の中央に位置し、蔵屋敷風の落ち着いた雰囲気、浴室には花崗岩が使われ、道後温泉特有の湯釜も置かれています。温泉は、道後温泉本館と同じく無加温・無加水の「源泉かけ流し」の湯です。

料金	大人(12歳以上)	小人(2~11歳)	営業時間
	400円	150円	6:30~23:00(札止 22:30)

㊦ 道後温泉別館 飛鳥乃湯泉 あすかのゆ



「椿の湯」の隣りに新しくできた、聖徳太子が来浴したとされる飛鳥時代の建築様式を取り入れた湯屋です。道後温泉本館と同じく、全国でも珍しい加温も加水もしていない源泉かけ流しの「美人の湯」を満喫することができます。約60畳の大広間休憩室等では、道後温泉ならではの「おもてなし」の給茶サービスが受けられます。

コース	内容	料金	アメニティ・サービス	営業時間
1階浴室	1階浴室入浴のみ	大人: 610円 小人: 300円	なし	6:00~23:00 (札止 22:30)
2階大広間	1階浴室入浴+ 2階大広間休憩	大人: 1,280円 小人: 630円	貸浴衣/ お茶・お茶菓子	6:00~22:00 (札止 21:00)
2階個室	1階浴室入浴+ 2階個室休憩	大人: 1,690円 小人: 830円	貸浴衣/貸タオル/ お茶・お茶菓子	6:00~22:00 (札止 21:00)
2階特別浴室 (家族風呂)	1階浴室入浴+ 2階特別浴室	1組: 2,040円+ 大人: 1,690円 小人: 830円	貸浴衣/貸タオル/ 貸バスケット/貸湯帳/ お茶・お茶菓子	6:00~22:00 (札止 20:40)

ボディースーツ / シャンプー / コンディショナー / ドライヤー完備

問い合わせ／松山市道後温泉別館指定管理者 **道後温泉コンソーシアム**

〒790-0842 愛媛県松山市道後湯之町19-22 TEL 089-932-1126

多くの業績を残した偉人 道後湯之町初代町長、伊佐庭如矢

道後温泉中興の祖 伊佐庭如矢 いさにわ ゆきや



伊佐庭如矢は明治22年、町村制実施により道後湯之町の初代町長に就任しました。彼が人々に訴えたのは、老朽化した道後温泉の湯屋の改築です。莫大な費用がかかることから反対する町民に対して、「100年後までも他所が真似できないものを」と主張し、今の道後温泉本館の礎をつくりあげました。このほか、松山城の廃城阻止にも力を尽くすなど、松山市のまちづくりに貢献しました。



■ 松山城の廃城阻止

松山市の中心にそびえ立つ松山城は、明治6年、政府の廃城令を受けて取り壊しの危機に瀕しました。当時、県の官吏をしていた如矢は、松山城の公園化を訴えた嘆願書をつくり、城を救うために尽力。その結果、松山城の公園化が認められました。



■ 道後温泉の興隆

如矢が町長に就任した頃、道後温泉の建物は老朽化がすすんでいました。養生湯の改築にはじまり、本湯(神の湯)の改築、雪の湯、又新殿の竣工まで10年ほどかけて築き上げ、現在のような壮麗な三層楼の建物を作りました。こうして道後温泉の興隆をもたらしたのです。



■ 道後公園の整備

中世の伊予守護であった河野氏の居城があった場所は、廃城後荒廃が進み、明治時代には竹やぶや雑木が生い茂っていました。そこで如矢は愛媛県との協力のもと、築山をつくり、植栽を施す整備事業を行います。園路を巡らせ、内濠に橋をかけた公園は、入浴客の散策の場となりました。



■ 道後鉄道の建設

如矢の功績のなかでも、入浴客の誘致のために行った道後温泉までの鉄道敷設は大きな効果をもたらしました。道後鉄道を設立し、明治28年には一番町〜道後間、道後〜三津口間の運行を開始。県外や松山市内から大勢の人を道後へと運びました。

庵治石や大島石を使った浴槽に、
壁面には大理石を使用するなど、
高級感あふれる浴室になっています。



白鷺の伝説

「伝云、古此湯少し湧出したり、鷺の足かたはなるが、常々来りて足を浸す、幾程となく平癒したり、故に此所を鷺谷と云」郷土地誌「予陽郡郷俚諺集」には、道後温泉は白鷺により発見せられ、人々がその霊験を知って入浴するようになったと伝わります。

語り継がれる歴史



熟田津の歌

「熟田津に船乗りせむと月待てば潮もかなひぬ今はこぎいでな」は斉明天皇率いる船団が出港するにあたり、額田王が作った歌といわれています。



玉の石

伊予国風土記逸文には、大国主命が重病の少彦名命を掌にのせて道後の湯であたためたところ、たちまち元気になり石の上で踊ったと記されています。



一遍上人と湯釜

道後の宝厳寺に生まれた時宗の開祖である一遍上人は、正応1年(1288)、河野道有の依頼で、湯釜の宝珠に「南無阿弥陀仏」の六字の名号を書いたと伝えられています。



聖徳太子と湯の岡の碑文

法興6年(596)、道後に訪れた聖徳太子は明媚な風光と良質の温泉を推賞せられ、湯の岡に温泉の碑を建立されたと伝わります。

霊の湯

営業：6～23時
礼止：22時30分

■大人420円
■小人160円
(利用時間1時間)

三千年の
歴史を誇る
坊っちゃんも愛した名湯



本館は保存修理工事中ですが、温泉は楽しめます。



三階



二階



一階



この部分「霊の湯」で入浴できます。

霊の湯(女)

霊の湯(男)

トイレ

トイレ

道後温泉本館は

- 1階が神の湯(かみのゆ)と霊の湯(たまのゆ)の2種類の浴場、
 - 2階が皇室専用の又新殿と大広間の休憩室、
 - 3階は個室の休憩室になっています。
- それぞれを組み合わせた4つの入浴コースがありますが、後期工事期間中は霊の湯のみのご利用となります。

工事期間は2019年1月15日から2024年末までを予定しています。

振鷺閣と刻太鼓は

「残したい日本の音風景100選」に選ばれています。

太鼓は、時刻を告げる刻太鼓として、朝6時に6回、正午に12回、夕方6時に6回の1日3度打ち鳴らされ、温泉情緒を醸し出しています。現在振鷺閣は、後期工事エリアのためご覧いただけません。



道後温泉HPに詳しい情報があります。

【公式サイト】道後温泉 <https://dogo.jp>

道後温泉 検索

